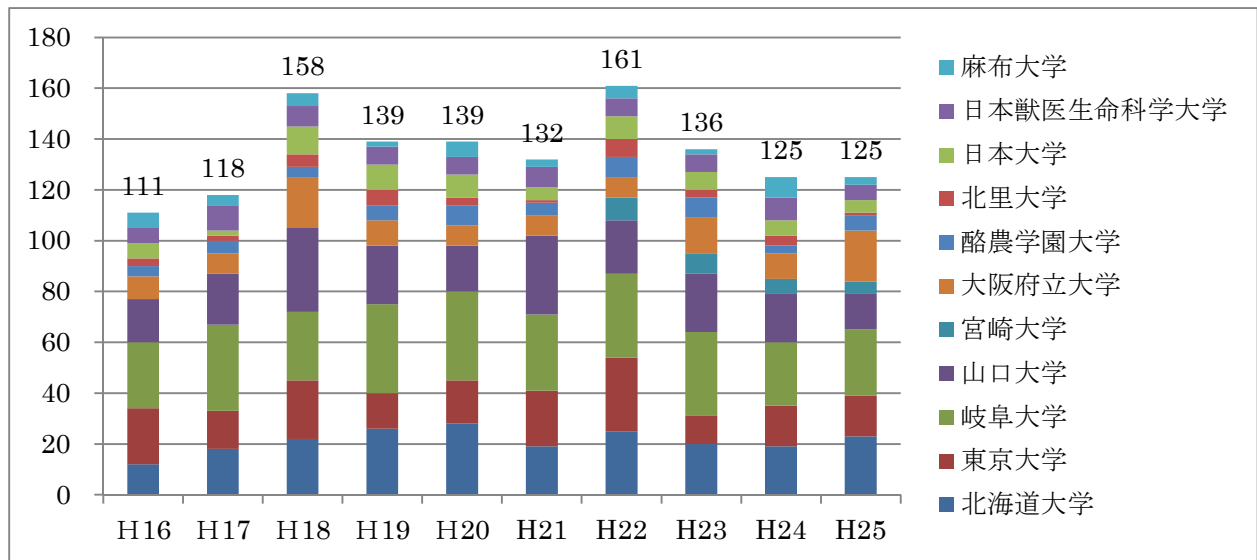


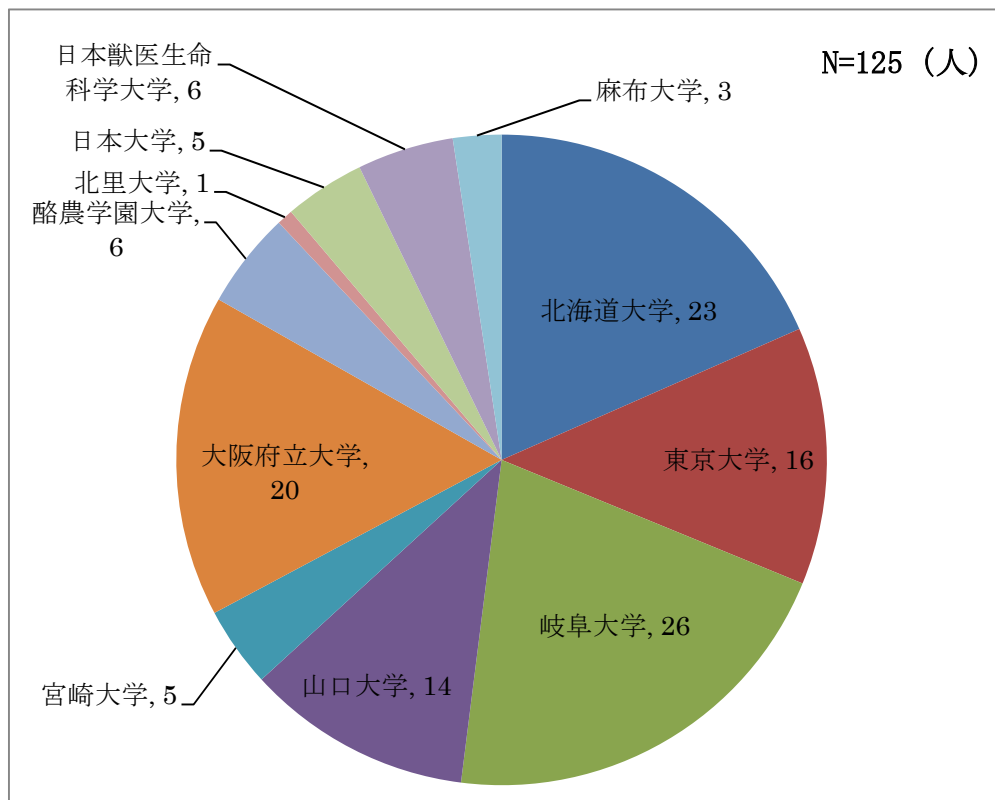
## 教育実施状況調査の結果概要（大学院）

## 1. 大学院入学者について

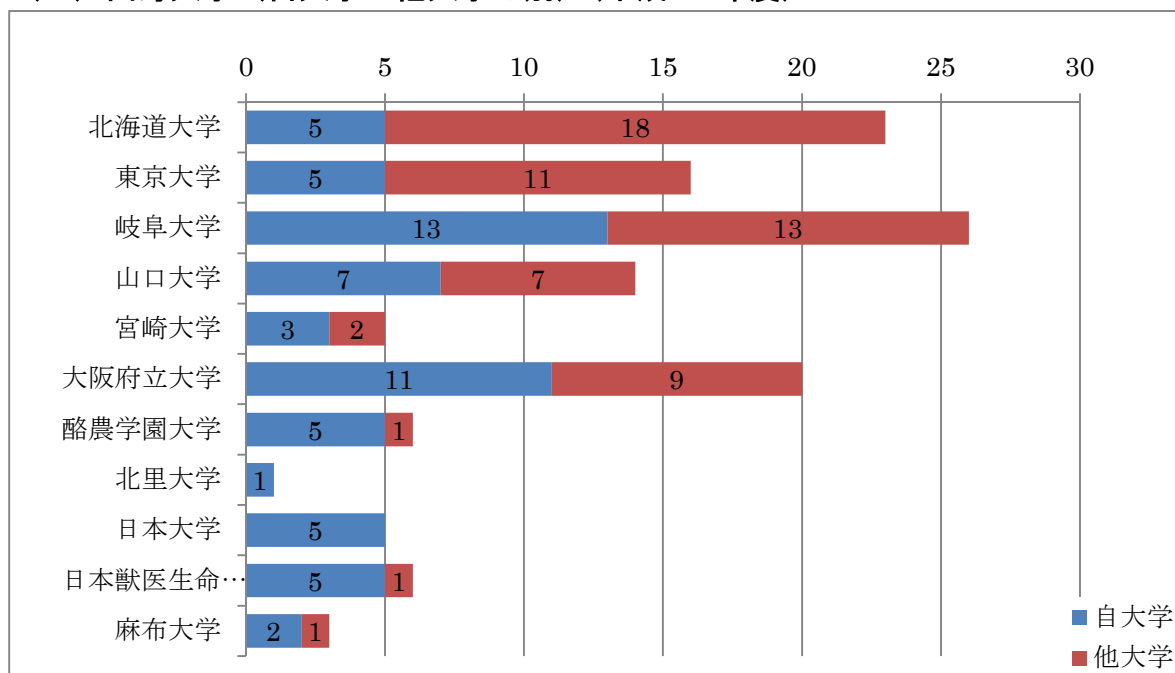
## (1) 入学者総数の推移（平成 16～25 年度）



## (2) 大学別入学者総数（平成 25 年度）



(3) 出身大学（自大学・他大学の別）（平成 25 年度）

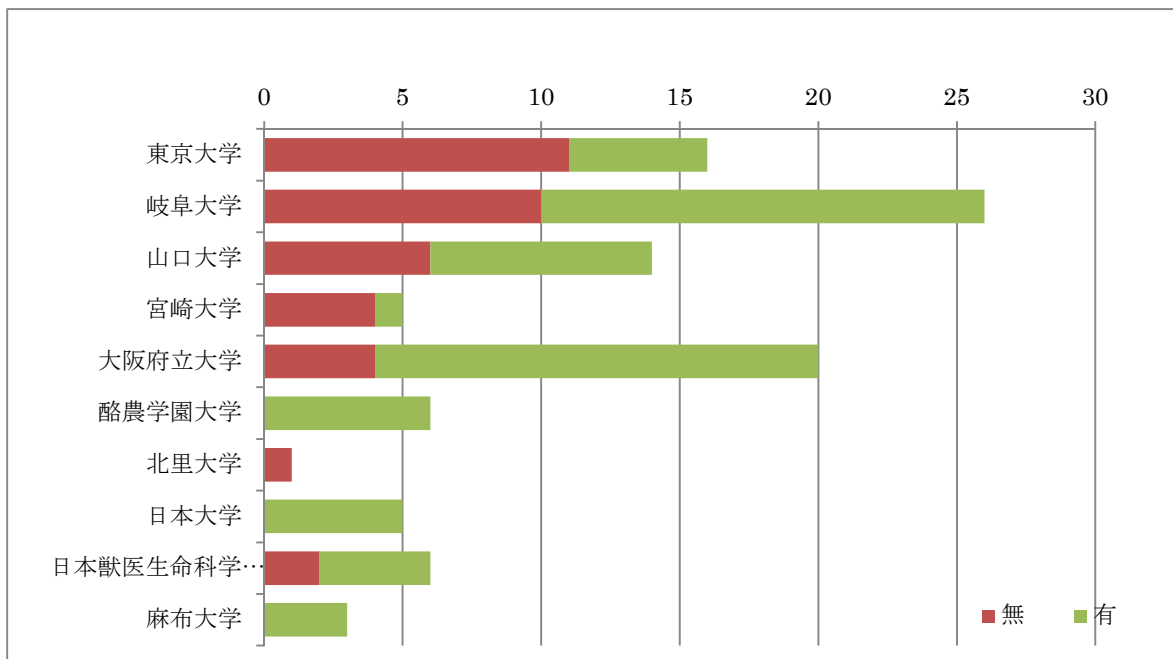


※留学生を含む。

(4) 入学者の出身学部（平成 21～25 年度）

大学名	H21				H22				H23				H24				H25			
	獣 医 系	医 学 系	そ の 他	合 計	獣 医 系	医 学 系	そ の 他	合 計	獣 医 系	医 学 系	そ の 他	合 計	獣 医 系	医 学 系	そ の 他	合 計	獣 医 系	医 学 系	そ の 他	合 計
北海道大学	16	1	2	19	22		3	25	15		5	20	16	1	2	19	14		9	23
東京大学	20	1	1	22	29			29	10		1	11	16			16	15		1	16
岐阜大学	26		4	30	31		2	33	31		2	33	22		3	25	23		3	26
山口大学	30		1	31	18	1	2	21	22		1	23	18		1	19	12		2	14
宮崎大学				0	9			9	6	1	1	8	5		1	6	4		1	5
大阪府立大学	6		2	8	7		1	8	11	1	2	14	8		2	10	20			20
酪農学園大学	5			5	8			8	8			8	3			3	6			6
北里大学	1			1	7			7	3			3	4			4	1			1
日本大学	5			5	9			9	7			7	6			6	5			5
日本獣医生命科学大学	6		2	8	7			7	7			7	9			9	5		1	6
麻布大学	3			3	5			5	2			2	8			8	3			3
総計	118	2	12	132	152	1	8	161	122	2	12	136	115	1	9	125	108	0	17	125

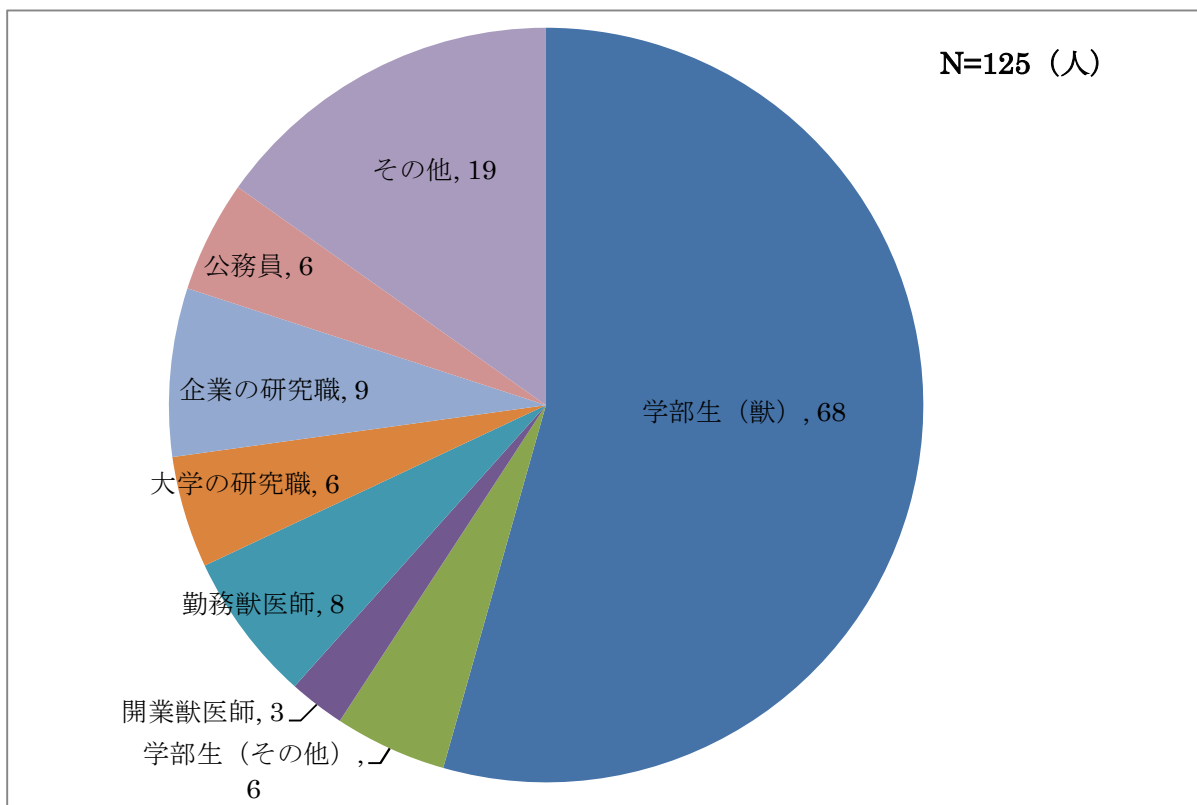
(5) 日本の獣医師免許の有無 (平成 25 年度)



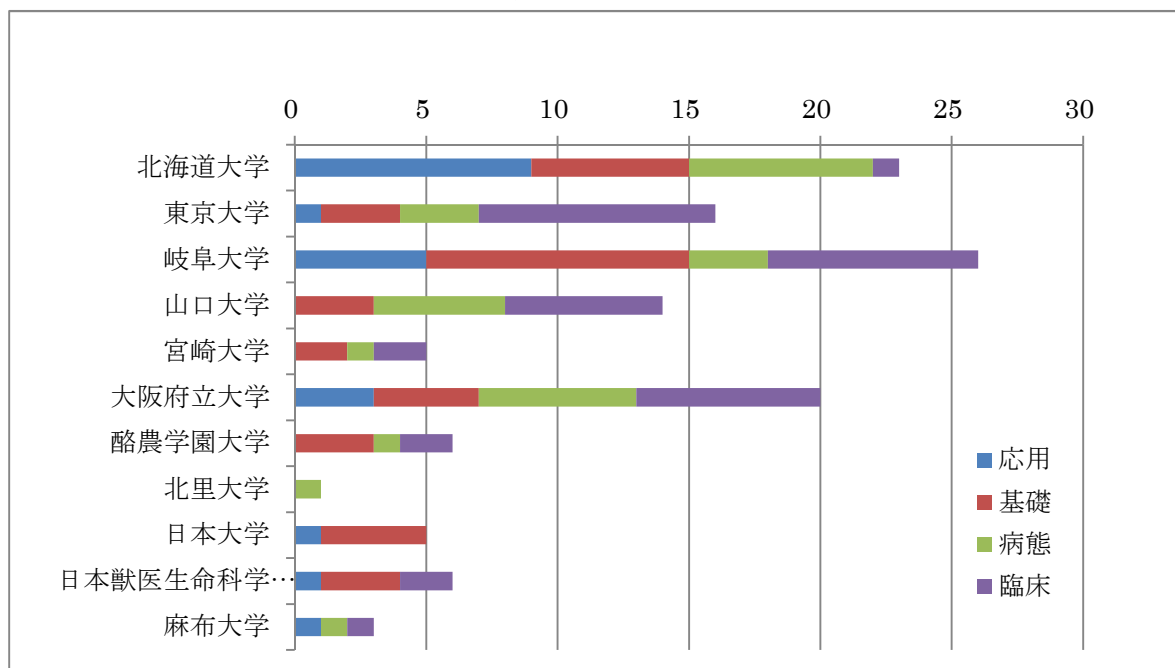
※留学生を含む。

※北海道大学は、データを取得していないため、不明。

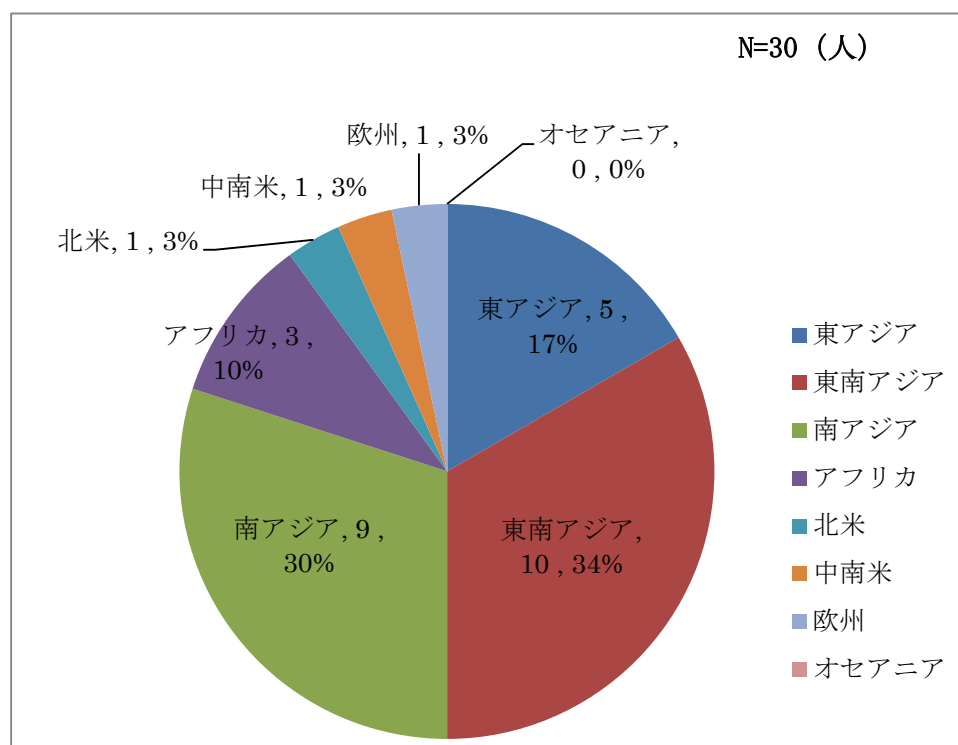
(6) 前職の状況 (平成 25 年度)



(7) 学生の専門分野 (平成 25 年度)

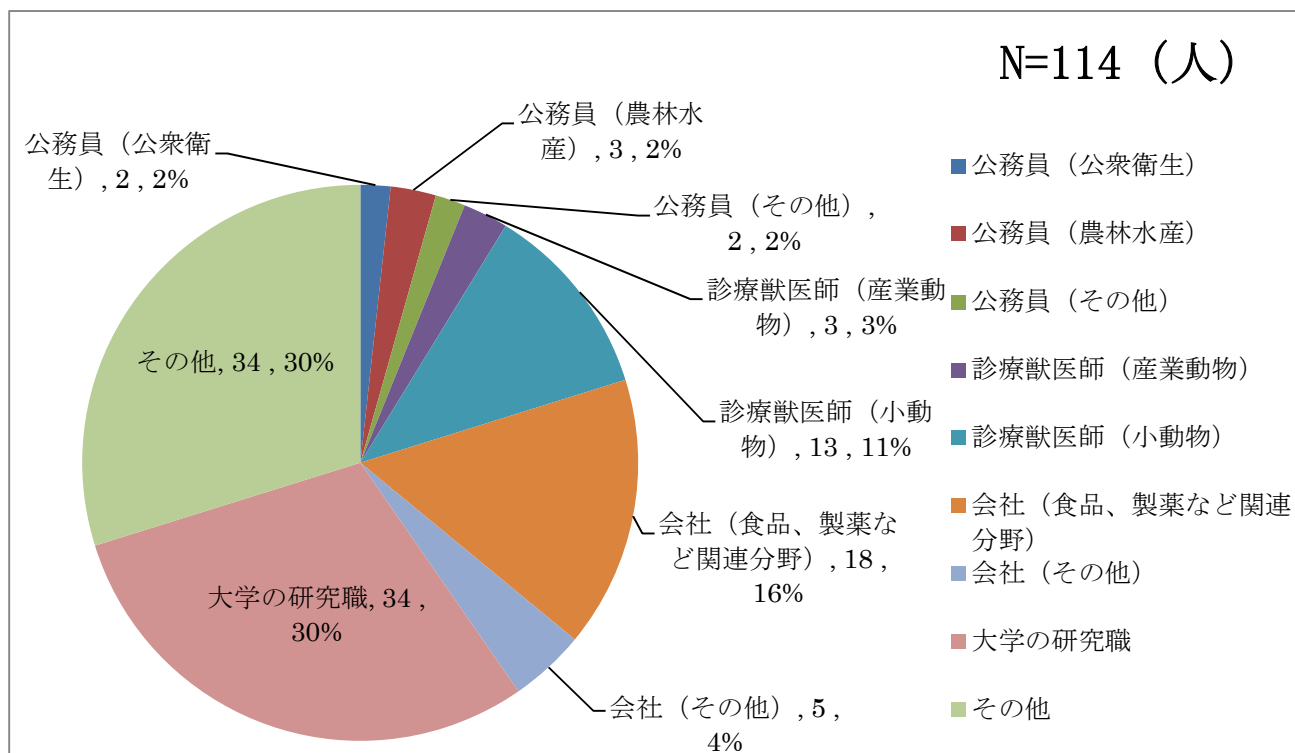


(8) 留学生数 (平成 25 年度)



## 2. 大学院修了者について

### (1) 修了者の就職の状況 (平成 24 年度)



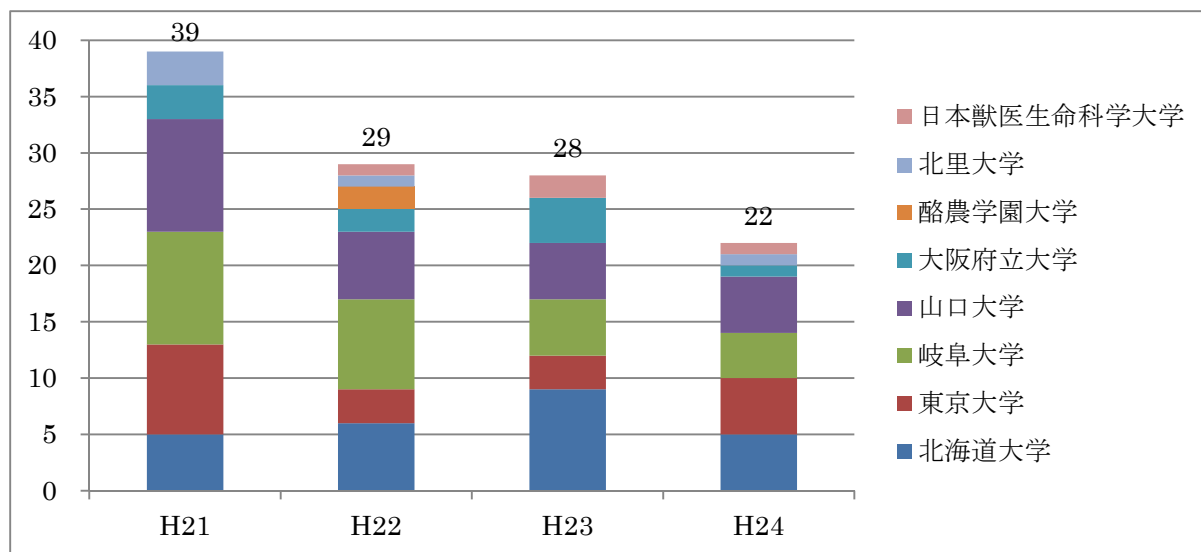
※留学生を含む。

### (3) 修了者の学位取得の状況

大学名	H21			H22			H23			H24		
	無	有	H21 集計	無	有	H22 集計	無	有	H23 集計	無	有	H24 集計
北海道大学	8	9	17	5	16	21	1	22	23	3	14	17
東京大学	1	17	18	2	10	12	1	15	16		21	21
岐阜大学	2	27	29	1	27	28		22	22		30	30
山口大学	9	22	31	4	14	18	6	16	22		20	20
大阪府立大学	3	7	10	1	7	8	1	9	10		3	3
酪農学園大学	1	2	3	1	4	5	1	4	5		5	5
北里大学		4	4		5	5		3	3		5	5
日本大学		7	7		9	9		8	8		6	6
日本獣医生命科学 大学		7	7		5	5		6	6		6	6
麻布大学		4	4		2	2		5	5		1	1
	24	106	130	14	99	113	10	110	120	3	111	114

#### (4) 留学生の状況

##### ○留学生修了者数の推移（平成21～24年度）



##### ○留学生修了者の進路の状況

	H21	H22	H23	H24
公務員（公衆衛生）	1	1		
公務員（農林水産）	2			
公務員（その他）	1		1	
診療獣医師（産業動物）	1	1		
大学の研究職	20	17	15	11
会社（食品、製薬など関連分野）		2	1	
会社（その他）	1		1	
その他	13	8	10	11
総計	39	29	28	22

### **3. 選抜試験の方法について**

#### **(1) 試験科目・実施形態・実施時期等**

- 試験科目：外国語（英語）及び専門科目。
  - ・外国語について、TOEFL や TOIEC を利用した評価又は免除。
  - ・専門科目について、指定の1科目以外は、試験当日に2科目を自由に選択。
- 実施形態：記述試験及び口述試験。
- 実施時期：主に8～9月及び1月～2月。
- 選抜基準：殆どの大学で非公表。

#### **(2) 外国人選抜試験**

- 各大学において以下のような措置を実施。
  - ・留学生のための選抜枠を設置
  - ・書類選考（渡日前選抜含む）あるいは口述試験による選考
  - ・外国語（英語）試験の免除
  - ・特別措置を廃止し、一般入学と同様の試験を実施
- なお、留学生に対する特別措置を実施しない大学もある。

#### **(3) 社会人選抜試験**

- 各大学において以下のような措置を実施。
  - ・専門科目の代わりに小論文等による選抜
  - ・口頭試問のみ実施
  - ・出身大学の学業成績・卒業論文等及び研究計画による書類選考
  - ・学力試験の免除

#### 4. 経済的支援制度について

##### (1) 日本学術振興会特別研究員制度（DC1、DC2）への応募・採択状況

○獣医系大学全体で例年20～30名程度が採択されている。

採択率は30%程度で、DC1・2の全体平均（25%程度）を若干上回っている。

○学生への周知については、ガイダンスによる周知は実施されておらず、メール・掲示板による周知や、指導教員からの紹介が主となっている。

##### (2) TA・RAとしての活用状況

業務内容についてはいずれの大学においても大きな違いはない一方で、単価及び雇用時間数については大きく違いがある。

###### ○TA

・業務内容：学部学生の講義・実験・実習・演習等の補助に従事

・単価：ほとんどは時給制だが、一部月給制・年給制（週・月の業務時間を設定）もある。時給の場合、大学によって990円から4,500円まで、大きく差がある。

・時間数：大学によって、大学院生一人当たりで年間25時間から197時間まで差がある。学部学生一人当たりの時間数でも、1.4時間から40.9時間までばらつきがある。

###### ○RA

・業務内容：研究活動業務の補助。外部資金を含む研究プロジェクトによる雇用も多い様子。

・単価：時給1,300円程度。月給制では60,000～70,000円。

・時間数：大学によって、大学院生一人当たり年間54時間から500時間まで差がある。

##### (3) 研究科・専攻による独自の制度

###### ○主に成績優秀者を対象としたもの

- ・奨励金制度（公的資金による）
- ・研究科博士課程研究遂行協力制度
- ・生物資源科学部特別研究生制度

###### ○主に学資の支弁が困難な学生を対象としたもの

- ・生物資源科学部後援会奨学生制度、生物資源科学部校友会奨学生制度
- ・応援奨学生制度
- ・外国人留学生授業料減免制度

###### ○海外渡航に伴う補助

- ・学会等の海外渡航に係る渡航費補助（同窓会による）



## 5. 在籍期間等について

### (1) 各大学における在学期間短縮制度の利用者数

大学名	H20	H21	H22	H23	H24
北海道大学	2	1	3	5	2
東京大学	0	0	0	0	0
岐阜大学	5	6	5	6	8
山口大学	1	1	0	3	5
宮崎大学※					
大阪府立大学	1	0	0	1	0
酪農学園大学	0	0	0	0	0
北里大学	0	0	0	1	4
日本大学	2	0	0	0	0
日本獣医生命科学大学	1	0	0	1	0
麻布大学	1	0	1	0	0
合計	13	8	9	17	19

※平成 22 年度設置のため、平成 24 年度までは修了生がない

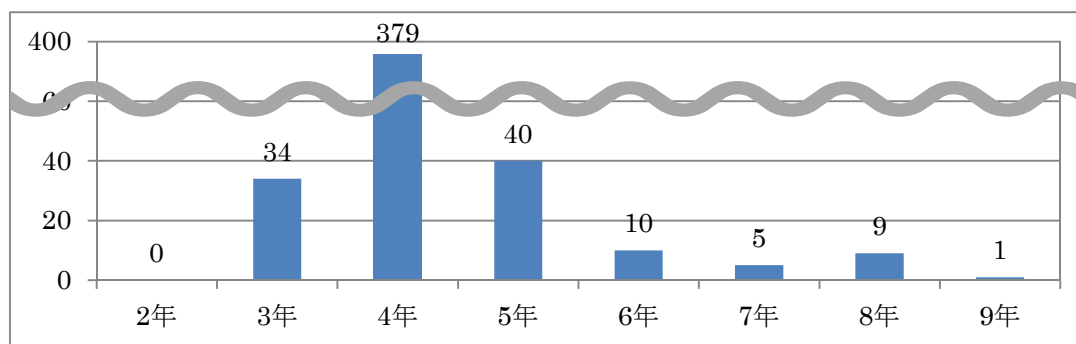
### (2) 在学期間短縮制度の概要

- 全ての大学が在学期間短縮制度を実施しており、優れた研究業績を上げた者について、3年以上の在学（3年又は3年半）で課程の修了を認める形としている。
- 研究業績については、学術雑誌への掲載状況（I Fを基準に利用する大学あり）や、学術団体の受賞歴等を勘案し、学内に設置する委員会（研究科委員会あるいは短縮制度審査のための専門委員会）で審査している。

### (3) 長期履修制度の活用状況

- 平成 20 年度～平成 24 年度の修了者においては、長期履修制度の利用者はいない。
- 私立大学では長期履修制度そのものが用意されていない。

### (4) 在籍期間（年）（平成 21～24 年合計）



- ※1年未満切り上げ（例：在籍期間3年6月（6か月の短縮）は在籍期間4年として計上）
- ※各大学とも長期履修制度の利用者はいない
- ※4年未満の在籍者は短縮制度利用者（一部4年の中にも含まれる）
- ※5年以上の在籍者の中に長期履修制度利用者はおらず、いずれも休学や通常の在籍期間の延長（いわゆる標準年限の倍）によるもの

## **6. 教員の資格審査について**

- 博士の学位を有すること
- 研究業績の基準としては、学術雑誌に掲載された原著論文数（主指導教員で20～30編）や過去5年間の発表論文（同2～5編）等が基準となる。  
（臨床系教員については専門分野に関する著書等を含めることもできるとする大学もあり。）
- 論文掲載誌としては、MedicineあるいはWeb of science、Current Contents掲載誌、日本学術会議協力学術研究団体の発行するもの等